

13. 『誰でも』『楽しく』『けがなく』参加できる ソーシャルフットボール講習会

グループ名 一般社団法人 大阪ソーシャルフットボール協会
代表者 黒田 研二

① 活動の目的

・大阪府下の精神障がいや発達障がいのある方を対象とした、精神障がい者フットボールの普及啓発を行う事を目的とした。競技人口の拡大及び、支援ボランティアの拡大を図った。

他障がいに比べ、精神障がい者スポーツの普及は遅れてきた。約 10 年前に大阪で精神障がい者フットボール（ソーシャルフットボール）が誕生し、2016 年には国際大会が大阪で開催されるなど、競技性のスポーツとして一定の発展を遂げてきた。一方で、400 万人とされる対象者の内、実際の競技を行っている人口は約 3,000 人とされている（NPO 法人日本ソーシャルフットボール協会より）。精神疾患及び精神障がいに対して、運動の肯定的な研究効果が数多く報告されるようになっておきている事から、競技性スポーツとしてだけでなく、初心者や女性でも気軽に楽しめる“エンジョイスports”としての普及発展を目的とした。また、活動を支えるボランティア育成のため、社会人を中心にボランティアを都度募り、当事者と一緒に活動を共にする事を目的とした。

② 活動概要

・活動基盤が整っていない地域で重点的に精神障がい者フットボールの講習会を開催した。

また、フットサルを行うと共に、ヨガやバスケなど他のスポーツなどとコラボイベントや、女性限定イベントを企画し、多角的な普及啓発活動になるよう努めた。対象期間中に合計 8 回実施した。ボランティアは大阪府下全域から募り、フットサル競技経験の有無や年齢を問わず幅広い方に参加頂く事が出来た。また、『誰でも』『楽しく』『けがなく』の理念に沿い、アイスブレイキングなど交流や楽しみを多く取り入れ、どの回も笑顔溢れる催しとなった。

謝辞：本活動に対し助成頂き誠にありがとうございました。

2018年

- 9/28（金） 「ソーシャルフットボール講習会～南河内会場～」
河内長野市立市民総合体育館、32名参加
- 12/1（土） 「女性のためのソーシャルフットボールクリニック」
FUTMESSE 天下茶屋、26名参加
- 12/13（木） 「デイケアソーシャルフットボール講習会」
大阪市長居障がい者スポーツセンター、35名

2019年

- 1/28（月） 「ソーシャルフットボール講習会～大阪市会場～」
大阪市長居障がい者スポーツセンター、55名参加
- 1/31（木） 「ソーシャルフットボール講習会～泉南会場～」
J:COM 末広体育館、35名参加、
- 2/20（水） 「デイケアソーシャルフットボール講習会」
カモンたかいし、24名参加
- 2/26（火） 「精神障がい者バスケコラボイベント」
大阪市長居障がい者スポーツセンター、62名
- 3/14（木） 「ソーシャルフットボール講習会～中河内会場～」
ノア・フットサルステージ久宝寺、35名参加

③ 決算報告書

収入	大同生命厚生事業団助成金	100,000円
支出		
	会場費	42,008円
	保険料	32,436円
	印刷製本費	6,570円
	謝金（講師謝礼）	11,136円
	交通費	10,494円
	会議費	2,642円
	雑費（フットサル用具など）	60,319円
	合計	165,605円

